

特別研修 IPM と GAP 研修の概要

IPM と GAP 研修の目的

- ① GAP 指導の中で、IPM について指導するための基礎知識を学ぶ。
- ② IPM 導入の成功事例を学び、基本的な枠組みと応用方法について学習する。
- ③ JGAP 指導員の資格を更新する。

※指導員登録のない方は当該研修の受講による指導員登録はできません。

IPM と GAP 研修内容

- ・ IPM と GAP の関係
 - GAP の振り返り
 - 管理点と適合基準における IPM
- ・ IPM 概説
 - 日本における有害生物管理前史
 - IPM の定義
 - IPM における防除の考え方
 - IPM 技術の事例(耕種的防除、物理的防除)
- ・ IPM の取組方法
 - 防除の目安
 - 予防
 - 判断(モニタリングと評価)
 - 防除(介入)
- ・ IPM 技術の紹介(生物的防除)
 - 生物的防除について
 - 生物農薬の紹介
 - 他の防除手段との組み合わせ
 - 生物的防除を用いた IPM 技術の紹介
- ・ マルハナバチ利用と外来生物法遵守
- ・ ワークショップ: 作物別 IPM スケジュール作成
- ・ 質疑応答
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・ IPM と GAP 研修には試験はありません。
- ・ 合格基準は以下の通りです。
 - 研修期間中の出席時間が全体の 90%を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・合格した受講者には研修終了後に修了証をお渡しいたします。また、後日、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。
- ・研修期間中の出席時間が 90%に満たない受講者は、12 か月以内に 1 度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。